

予 算 要 求 資 料

令和7年度3月補正予算

支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農業大学校費

事 業 名 農業大学校畜産エリア整備事業費（R8実施分）

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農業大学校 総務課 電話番号：0574-62-1226

E-mail : c24405@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 8,637 千円 (現計予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 収 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要 求 額	8,637	2,453	0	0	0	0	0	5,000	1,184
決 定 額	8,637	2,453	0	0	0	0	0	5,000	1,184

2 要求内容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

- 農業大学校の機械庫は、昭和45年に建設、築55年が経過し、老朽化が著しいため、過去2回更新にかかる予算要求を行ったが、関連施設との優先順位やコスト、さらに「県有施設の総点検」による全庁調査の影響により、計上見送りになった。
- 依然として老朽化が著しく、扉の開閉部など至る箇所で不具合があり、学生の怪我等が懸念され、これ以上の延命が困難な状況である。
- また、畜産・園芸エリアで使用する機械を1箇所で保管し、出入口が畜産エリア側のみとなっているため衛生管理の観点からは不十分な状況である。

(2) 事業内容

- 地方創生推進交付金（地域未来推進交付金）を活用し、新たに機械研修等の整備し、農業大学生に加え、農業に興味のある方を対象した機械操作研修・実習等の利用促進を図る。
- 整備にあたっては、分散・小型化を図ることでコスト縮減を図る他、衛生面から畜産用と園芸用に、畜産・園芸エリアそれぞれに別棟で整備をする。
- コスト縮減の観点から市販ユニットの活用により、事業費を圧縮する。

■機械研修棟の整備（園芸研修棟・畜産用研修棟）2棟整備

■既設機械庫の解体撤去

■総事業費：108,486千円

うち 令和8年度事業分

・地質調査委託 395千円

・実施設計委託（解体）1,874千円

・アスベスト調査 213千円

・建築確認申請委託 3,121千円

・実施設計委託（建築）3,034千円

合計：8,637千円

(3) 県負担・補助率の考え方の有無

- 実施設計・工事監理委託料及び工事費（解体・整備費） 1/2 国
※※地方創生推進交付金（地域未来交付金：拠点整備事業）
活用予定（令和8・9年度）

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
工事委託料	8,424	建築確認申請、地質調査、実施設計（解体・建築）等
業務委託料	213	アスベスト調査
合計	8,637	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- 「清流の国ぎふ」創生総合戦略
 - 3 地域にあふれる魅力と活力づくり
 - (3) 農林畜水産業の活性化
 - ①農林畜水産業を支える人材の育成・確保
- 「ぎふ農業活性化基本計画（仮称・令和8年3月策定予定）」

(2) 国・他県の状況

- 直近では令和4年度に青森県が同様の工事を実施（約1億円）

(3) 後年度の財政負担

- 令和9年度に工事費（機械研修棟の整備及び既設機械庫の解体撤去）及び上記工事に伴う監理委託費
事業費計：99,847千円
(機械研修棟整備：89,577千円、既設機械庫解体：7,810千円、工事監理：2,460千円)
※適正な工期を確保するため、債務負担行為（R8-R9）を設定

(4) 事業主体及びその妥当性

- ・県

事業評価調書（県単独補助金除く）

■ 新規要求事業

□ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

老朽化施設を改修整備することにより、学生の安全を確保するとともに、少子化時代にも選ばれる学校づくりをすすめる。

それにより、入学者を維持、卒業生を新たな担い手として育成し、多様な担い手づくりや売れるブランドづくりなど県施策の推進を推進します。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R1)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R9)	R6達成率
①入学者数	28人	27人/30人	30人	30人	30人	90%
②卒業者数	25人 (H30入学者)	20人/30人 (R5入学者)	26人 (R6入学者)	27人 (R7入学者)	30人	66%

○指標を設定することができない場合の理由

（記入用紙面）

（これまでの取組内容と成果）

令和 4 年 度	・取組内容と成果を記載してください。 農業大学校圃場内各施設の小修繕については、学生指導に支障を来さぬよう適宜対応してきた。
	指標① 目標： 30人 実績： 28人 達成率： 93%
令和 5 年 度	・取組内容と成果を記載してください。 農業大学校圃場内各施設の小修繕については、学生指導に支障を来さぬよう適宜対応してきた。
	指標① 目標： 30人 実績： 20人 達成率： 66%
令和 6 年 度	・取組内容と成果を記載してください。 農業大学校圃場内各施設の小修繕については、学生指導に支障を来さぬよう適宜対応してきた。
	指標① 目標： 30人 実績： 27人 達成率： 90%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価)	
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)	
3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

昭和45年に建設された機械庫は、老朽化が著しく、扉の開閉部など至る箇所で不具合があり、学生の怪我等が懸念されるため、改修を行い建物の長寿命化を図るとともに、各所の不具合について適宜対応し早期の修繕に努めることが必要である。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
施設の老朽化について計画的に修繕を行っていく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	